



2022年度

事業報告書

2022年(令和4年)4月1日から
2023年(令和5年)3月31日まで



学校法人関西学院

2022年度事業報告書の公表にあたって

学校法人 関西学院

理事長 村 上 一 平



3年に及ぶコロナ対応もようやく節目を迎えようとしております。しかしその一方で2年目に入ったロシアによるウクライナ侵攻は一向に収束の兆しは見え、それに起因した穀物や原油の輸出規制に端を発したインフレやそれを抑え込もうとした欧米と日本の金融政策の不一致によって円ドル為替は極端な円安となり、それが日本国内の輸入物価をさらに押し上げるという悪循環を招いています。

このような経済環境下にあつて、学校法人経営にとってさらに大きな出来事が今年になって厚生労働省から発表されました。それは2022年の出生者数が799千人と80万人を割ったということでした。これは現在110万人いる高校3年生の数が18年後には約30%減少して80万人を割ることが確定したということです。学校経営にとって受験者数の減少がどのようなインパクトを持つものであるかということについては今さら申すまでもないことでありましょう。関西学院にとっても例外であるはずはなく、関西学院が今のレベルを維持し、更に発展、向上するためには何をなすべきかを問われています。まさに経営の手腕が問われていると言えます。

関西学院に連なる多くのステークホルダーの皆様のご協力、ご尽力によって、3年にわたるコロナ禍にもかかわらず、2022年度決算も順調に推移いたしました。私ども関西学院の経営を預かる理事会は上記のような環境を踏まえ、この決算の結果を50年後、100年後を見据えた関西学院の教育、研究の充実、革新のために再投資しようと考えております。

そのため2022年春より特別委員会を設け、世界の最先端を行く教育、研究の在り方について検討を重ねると同時に、ヨーロッパ、アメリカにおける先端的な教育を行っている大学に調査団を派遣してまいりました。現在、その検討も最終段階に入っております。次回2023年度事業報告書においてその具体的な内容を皆様にお示しできることを楽しみにしております。

皆様におかれましては引き続き関西学院の活動にご理解、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

目次

I. 学校法人の概要

1. ミッションとスクールモットー	02
2. 沿 革	02
3. 関西学院が設置する学校・施設	03
4. 学生・生徒等の状況	04
5. 教職員の状況	05
6. 主な運営活動指標等の推移	06
7. 役員・評議員の状況	07
8. 組 織	09

II. 事業の概要

1. 関西学院大学の教育研究の概要	10
2. 学生・生徒等の納付金	11
3. 中期的な計画及び事業の進捗状況	12

III. 財務の概要

1. 決算説明	19
資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表	24
独立監査人の監査報告書・監事監査報告書	35
2. 財産目録	38
3. 財務データ（経年比較）	40

学校法人関西学院 2022年度事業報告書

※本報告書の対象期間は2022年度（令和4年度）ですが、この期間以外の内容も記載しています。

発行 学校法人関西学院
兵庫県西宮市上ヶ原一番町1番155号
2023年5月31日
<https://www.kwansei.ac.jp/>